

ある西洋版画研究家がこんなことを言ったことがあります。

版画作品には拡大できるものと、できないものがあるが…拡大して悪くなる作品は、形態や質感に対する感覚を持ち合わせていない美術家の場合である。形態とか質感といったことは、単に細部とかあるいは表面のこのみではなく、全体の構成を支配するし、最も微細な部分の研究もぬかりなくやることである。こうした感覚を持った美術家の作品は十分に拡大できる。

(William M. Irvins, Jr.: How Prints Look, New York, 1958 和訳は菅野陽氏)

優れた版画作品を見ていると、あたかも画面に吸い込まれるような錯覚にとらわれることがあります。特に風景を題材にしたものなら、合理的な遠近構成で組み立てられた全体の空間を眺めつつ、自分の眼を様々な部分に焦点を合わせ、心の中心で思い思いのフレーミングでズームアップすると、絵の中に潜む未知の別世界を探り当てたような喜びを感じたりします。

この神戸市立博物館は世界最大最高の日本製銅版画コレクションを持っています。江戸後期から明治前期にかけて描かれた約2700件の作品で構成されていますが、その中から27件を精選し展示します。

銅版（エッチング）という技法は、中世のヨーロッパで発明され、日本で描かれるようになるのは18世紀後半からです。大半は絵葉書程度の大きさです。同じ時代につくられた浮世絵版画と較べても格段に小さなものばかりで、ケタ違いに細かい描線で画面が構成されています。このような日本製銅版画は、「微細な部分の研究」に秀で、細部に宿る別世界の喜びを観る人に与えることができるでしょうか？この問いかけの答えを探るのが、この展覧会のテーマです。

ズームアップ！日本の銅版画 出品目録

- 1 **【原版皿】新鐫 里数早見 東海道五十三駅一覧図** 岡田春燈斎鐫
江戸時代末期、19世紀中期 13.3×19.6 (外寸)
- 2 **草花図原版** 岩橋章山鐫 (参考出品)
昭和時代前期、20世紀前半 9.1×12.9 (外寸)
- 3 **江漢画室図** 司馬江漢鐫
寛政6年 (1794) 12.6×9.7
- 4 **三囲景** 司馬江漢鐫
天明3年 (1783) 25.0×38.7
- 5 **TNPERJENOSIMA 七里浜** 司馬江漢鐫
天明7年 (1787) 26.2×37.8
- 6 **TWEELANDBRUK 両国橋** 司馬江漢鐫
天明7年 (1787) 25.6×38.2
- 7 **陸奥国石川郡大隈滝芭蕉翁碑之図 (『青蔭集』挿図)** 亜欧堂田善鐫
文化11年 (1814) 22.8×16.0 (青蔭集外寸)
- 8 **今戸瓦焼之図** 亜欧堂田善鐫
江戸時代、18世紀末～19世紀初期 8.7×14.1
- 9 **日本橋魚廓図** 亜欧堂田善鐫
江戸時代、18世紀末～19世紀初期 8.8×14.0
- 10 **愛宕山眺望之図** 亜欧堂田善鐫
江戸時代、18世紀末～19世紀初期 9.0×14.5



3 江漢画室図

- 11 自駿河台水道橋眺望 亜欧堂田善鏑
江戸時代、18世紀末～19世紀初期 8.9×14.6
- 12 自大槌屋後樓臨不忍池図 亜欧堂田善鏑
江戸時代、18世紀末～19世紀初期 8.9×14.3
- 13 靈岸島湊之図 亜欧堂田善鏑
江戸時代、18世紀末～19世紀初期 8.7×14.1
- 14-1 洋人曳馬図・地球儀図 亜欧堂田善鏑
江戸時代、18世紀末～19世紀初期 1枚に2図印刷 37.8×34.8 (外寸)
- 14-2 コロンブス謁見図 亜欧堂田善鏑
江戸時代、18世紀末～19世紀初期 40.1×34.8
- 15 ゼルマニヤ廊中之図 亜欧堂田善鏑
文化6年(1809) 25.9×52.8
- 16 観魚亭舟中望 安田田騏鏑
文化12年(1815) 12.0×20.5
- 17 東都千住橋戸町ヨリ大橋之方ニ至ル景 安田雷洲鏑(推定)
江戸時代、19世紀前期 6.6×11.7
- 18 下つけからす川の景 安田雷洲鏑
江戸時代、19世紀前期 9.8×15.9
- 19 山上からの眺望図 安田雷洲鏑
江戸時代、19世紀前期 9.7×16.0
- 20 下総いたこの景 安田雷洲鏑
江戸時代、19世紀前期 9.3×16.1
- 21 西洋王侯図 松本保居鏑
江戸時代、19世紀前期 23.1×18.4
- 22 市街戦闘図 松本保居鏑
江戸時代、19世紀前期 16.7×25.6
- 23 極細銅鋳輯(26枚組) 松田緑山・龍山鏑
江戸時代、19世紀中期 各約4.0×1.3(羽子板型)
- 24 祇園石鳥居 岡田春燈斎鏑
江戸時代、19世紀中期 12.2×18.6
- 25 肥前長崎ノ丸山(異版2枚組) 岡田春燈斎鏑
江戸時代、19世紀前期 各8.8×14.3
- 26 俊寛喚船図 石田有年鏑
明治11年(1878) 14.1×18.4
- 27 神戸湊川 小林清親鏑
明治時代、19世紀後半 9.7×14.6
- 28 神戸布引滝之図 森琴石鏑
明治14年(1881) 12.2×9.1



20 下総いたこの景

次回展覧会のご案内

特別展

一瞬のきらめき まぼろしの薩摩切子

6月13日(土)～8月30日(日)

企画展

夏休み親子博物館

“どうぶつ”好きな子よっといで!!

7月18日(土)～8月30日(日)